

平成28年（2016年）8月1日発行

学園創立109周年 学園協議会開催

柳澤理事長講演

「学園強靱化の進捗と課題」

梅雨晴れの日となった7月2日（土）午前11時より、駒場高等学校100周年記念ホールに於いて、第9回となる学園協議会が開催された。



今年度は駒場高校を会場として開催



基調講演を行う柳澤理事長

学園創立109周年となる今回は、柳澤理事長、大学の成田健一学長、中学・高校の吉田忠雄校長をはじめ、理事・監事・評議員等法人関係者、駒場高等学校・中学校並びに日本工業大学教職員約80名が出席した。

第一部は、中学・高校の吉田校長による「開会の辞」で幕を開け、引き続き、柳澤理事長の基調講演が行われた。今年度は、昨年度の基調講演「学園強靱化プロジェクト」について、第二弾として「学園強靱化の進捗と課題」をテーマに講演が行われ、学園の生徒・学生の在籍数、財務分析、入試分析、人口戦

略、出口戦略等の現状報告がなされた。参加者は、本学園を取り巻く「客観的事実」を改めて認識し、共有を図ることができた。また、学園強靱化プロジェクトの進捗状況が次のように報告された。

強靱化Iとして「教学改革」。ここでは大学改革として学部・学科再編の検討、卒業時の質保証の明確化、大学院進学者の増加を、中・高改革として、更なる魅力ある中堅進学校及び大学へ進学するための工業科を目指すことを目標に掲げている。さらに、強靱化IIとして「労務管理の強靱化」を、強靱化IIIとして



懇親会では学園関係者が交流を深めた

学園創立110周年・大学設立50周年記念建設事業

宮代キャンパス事業起工式挙行政

食堂棟、クラブ棟着工

29年春竣工予定

平成29年6月の大学設立50周年に向け、宮代キャンパスの記念建設事業が本格的に始動した。5月14日に起工式が執り行われ、第一期となる食堂棟、クラブ棟が着工された。工期は2期にわたる。平成30年末に完工予定である。

■講義棟（新築）
地上7階建の新ランドマークで、低層のアクティヴ・ラーニングゾーンと高層の講義棟で構成される。300人収容から数十人規模まで大小の教室を多数備え、多様な講義形態に対応できる。



5月14日に行われた起工式

本事業では3施設の新築と周辺環境の整備を行う（左下表参照）。本館やLCセンターなど既存建物との動線、景観上の調和を考慮した配置となっている。

■食堂棟（新築）
昼食時には1000席の食堂、15時以降は自主学习スペース、パーティールームは600人が立食可能なスペースとの時間帯や用途に合わせたフレキシブルな利用に対応できる。

■クラブ棟（新築）
41の部室、4つの会議室、多目的スペース、男女シャワー室などを備える。地下には1000㎡の雨水貯留槽が設置され、浸水対策にも配慮。

■施設増築・周辺整備
第2食堂（ビザリアトレビ）の増築、新旧建物を繋ぐアーケードの設置、食堂棟とLCセンター間のバーベキユースペースの新設など、学生生活の利便性向上のための設備充実を図る。併せて、旧図書館跡をセントラルスクエアとして環境整備する。

約2年8カ月及び工期中、工事は安全確保と環境保全を最優先に進められる。学生や教職員、来学者にはご不便をおかけするが、ご理解のうえ、立入制限の順守などの対策にご協力いただきたい。また、事業資金の支援として募金の協力をお願いしている。事業内容や募金に関する詳細は、大学WEBサイト内の特設ページで随時案内していく。



講義棟（イメージ）



食堂棟（イメージ）



クラブ棟（イメージ）

宮代キャンパス事業概要

建物名	工期	構造	階数	建築面積(㎡)
① 講義棟	【第2期】平成29年7月～平成30年12月	鉄骨造	地上7階	2,458.59
② 食堂棟	【第1期】平成28年5月～平成29年2月	鉄骨造	地上1階	2,171.70
③ クラブ棟	【第1期】平成28年6月～平成29年3月	鉄骨造	地上3階	756.66
④ ビザリアトレビ棟（増築）	【第1期】平成28年8月～平成29年2月	鉄骨造	地上1階	※311.07
⑤ アーケード（3区画）	【第1・2期】平成28年8月～平成29年1月	鉄骨造	—	875.01
⑥ バーベキユースペース	【第1期】平成28年7月～8月	鉄骨造	—	139.54

※増築部分の面積



ISO更新審査報告

本学環境マネジメントシステムは「適合」
環境活動も継続的に維持、改善

5月17・18日の2日間、審査機関JACOから3人の審査員を迎えて「法的及びその他の要求事項の順守」「目的目標に関するシステムとパフォーマンス」「内部監査の有効性」「マネジメントレビューの有効性」を中心に3年に1回の更新審査が行われた。審査の結果、本学のマネジメントシステムは規格要求事項に適合し、有効に実施されていると認められた。また、環境活動が教職員および学生まで浸透し、キャンパス全体で成果を共有して外部へ発信するなど、この3年間継続的に維持・改善されていると判定された。特に



審査員による学生環境推進委員会のヒアリング

今夏の節電への取り組み

エネルギー使用量と
光熱水費を大幅削減

平成23年度以降、積極的に取り組んできた「省エネルギー活動」は、昨年度も学生・教職員の協力のもと着実に成果を上げ、平成22年度比で電力使用量の23・8％削減、都市ガスの16・4％削減を達成した。また、電力とガスを含めたエネルギー全体の光熱水費も大幅なコスト削減となった。一方、経済産業省からの電力削減に関する数値目標は今夏も設定されているが、埼玉県地球温暖化対策推進条例（CO2排出削減目標値）基準年比15％削減を受け、本学の「エネルギー使用管理部会」を中心に対策を検討、昨年に続き20％削減を目標に

このほか、設備の省エネ改善として、キャンパス電力使用量の約1・5％削減を節電することを目指し、E1棟（機械工学科棟）と14号館（情報工学科棟）の照明器具をLED化し、サステイナブルキャンパス構築に向けた活動を行う予定である。



節電啓発ポスター

その一方、改善点として、ISO組織の各部門が行っている有益な取り組みが、利害関係者に余り周知されていないとの指摘があった。ISO14001規格の改訂（2015年版）への移行を機に、さらに環境保全活動を活性化し、本学全体のモチベーション向上に繋がるよう検討していきたい。

6月22日にJACO内の審査が行われ、本学は「登録証」を受領した。

平成28年度出前授業プログラム

昨年度は93回実施、3168名が受講

平成28年度の出前授業プログラムは、全国の工業高等学校及び高大連携校に4月に配布している。出前授業は、全国の工業高校や普通高校、小中学校等で実施されている。平成27年度の実施回数は93回、受講者数は3168名であった。

今年度の出前授業プログラムは、下表のとおり計115テーマが用意されている。プログラムの内容は、各学科の専門性を生かし、高校生たちの疑問に答えるものである。高校生が工学や理学の世界に興味を持ち、その世界に導かれるよう工学技術をわかりやすく説明している。

学科	テーマ数	内 容
機械工学科	17	「学生達の手で造るクルマ・学生フォーミュラ車両」など
ものづくり環境学科	12	「家の中の地球資源を考えよう」など
創造システム工学科	16	「挑戦!次世代ロボット」など
電気電子工学科	18	「のぞいてみよう“ナノ”の世界」など
情報工学科	18	「かけ引きの科学」など
建築学科	12	「建築の構造デザイン」など
生活環境デザイン学科	9	「高齢者と歩きと環境」など
共通教育系	13	「セグウェイで体感するロボット制御の基礎」など

保護者のための就職ガイダンス

個別就職相談会

対 象 学部4年生、大学院2年生の未内定の学生の保護者

日 時 平成28年10月1日(土) 9:00~16:00

場 所 日本工業大学 就職支援課

対象の皆様には、9月上旬にご案内をお送りいたします

お問い合わせ先

日本工業大学 就職支援課

TEL:0480-33-7510 FAX:0480-33-7562

E-mail: syusyokuka@nit.ac.jp

機械工学科 神雅彦教授

日本塑性加工学会フェロー認定



機械工学科の神雅彦教授が5月20日、日本塑性加工学会から、学会に対して顕著な貢献をしたとして表彰され、フェローの称号を授与された。塑性加工はプレス機械で金属を成形させ、部品などを製造する技術。神教授は工具の超音波振動によって加工を微細で緻密に制御する技術を開発し、加工精度を劇的に向上させた。その成果は線材や電子部品等の製造技術で実用化されている。同学会においては2期にわたる理事就任、書籍出版などで貢献した。平成19年に優秀賞(会田技術奨励賞)を受賞。平成12年に学会内に立ち上げた「超音波応用加工分科会」では幹事や主査を歴任し、技術開発と普及に努めている。

神教授は現在、超音波

振動を利用した金属同士の接合に関する研究に取り組むとともに、後進の指導や企業の技術指導にも尽力する。受賞に際し神教授は「長年の研究が評価され、とても嬉しい。塑性加工の中でもかなり特殊な技術で手探りの部分も多いが、研究室卒業生や他大学若手研究者とのネットワークが広がっている。さらなる技術開発に期待したい」と述べた。

電気電子工学科 吉野秀明教授

IEEE

チエアマンズアワード受賞

電気電子工学科の吉野秀明教授が5月10日、「IEEE通信品質と信頼性技術委員会」のチエアマンズアワード(議長賞)を受賞した。同委員会は、IEEE(米国電気電子学会)の通信ソサイエティ内に25分野ある技術委員会の一つ。吉野教授は平成26年から2年間に、同委員会議長と標準化リエゾン(連携担当)を務めた。さらに平成22年から4年間、IEEEの通信に関する2つの最重要国際会議において、同委員会主催シン

ポジウムでの共同議長を務めた。こうした実績が通信品質・信頼性に関する技術領域の発展に寄与したとして委員会から高く評価され、今回の受賞となった。過去の受賞者には、欧米大手通信企業の会長やCTOなどの著名人が名を連ねている。受賞に際し吉野教授は「本技術委員会の諮問委員ならびに技術プログラム強化にご尽力いただいた

た皆様に感謝している。1月からは諮問委員会議長の立場で、引き続き本技術委員会ならびに技術領域の更なる発展に寄与していきたい」と述べた。



生活環境デザイン学科 金野千恵助教

ヴェネチア・ビエンナーレ

国際建築展

日本館が特別表彰を受賞



イタリアで開催中の国際展覧会「第15回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」において5月28日、日本館が特別表彰を受賞した。参加59カ国のナショナルパビリオンの中で特別表彰は優秀賞(金獅子賞)に次ぐ2位に相当する。

日本館は国際交流基金が主催し、本学を含む8団体が協賛。東京理科大学の山名善之教授がキュレーターを務め、今年の展示テーマを「en[縁]アート・オブ・ネクサス」として若手建築家12組の作品を展示している。

会場デザインは、生活環境デザイン学科の金野千恵助教が共同主宰する一級建築士事務所「ec-o」が担当した。その特徴は、「縁」という言葉がもつ「繋がり・境界・偶発」といった意味を可能な限り体感出来るスケール、空間構成で表現したところにある。2階に持ち上がった展示の内部空間には、12組の作品が模型や映像によって大スケールで展示され、ピロティ(一階部分を柱だけで構成する構造)の空間は、障子建具と木製ベンチにより、「縁」の空間が実際に体験出来るようになっていている。建築学科の吉村英孝准教授と学生5名も現地に赴き、会場の設営に携わった。同展覧会は2年に1度開催されており、本年の会期は5月28日から11月27日となっている。



金野助教がデザインを担当した日本館ピロティ

コンテストの参加者を募集しています!!

第8回3D-CADプロダクトデザインコンテスト



作品送付先/お問い合わせ先

3D-CAD プロダクトデザインコンテスト事務局 長坂保美

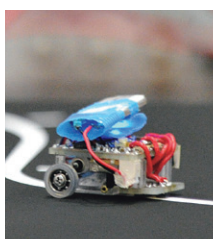
TEL:0480-33-7619 E-mail:nagasaka@nit.ac.jp

https://2c-laboratory.sakura.ne.jp/pdcontest/

エントリー締切 **8/20** 結果発表表彰式 **10/30**

3次元CADを駆使し、斬新かつ独創的なアイデアをコンピュータ上で表現してください。対象は高校生で、テーマ、CG、自由の3部門。優秀作品は加工して展示後、お渡しします。

第10回 マイクロロボコン高校生大会



エントリー/お問い合わせ先

創造システム工学科 櫛橋康博

TEL:0480-33-7716(学科事務局) E-mail:kusihashi@nit.ac.jp

http://ise.nit.ac.jp/mrc.html(エントリーはHPから)

エントリー締切 **9/3** 開催日 **9/17**

約1インチサイズの小型ロボットによるライントレース競技です。初心者でも競技参加しやすいようノビス部門も設置しています。全員完走を目標に、今夏も学内外で講習会を実施します。

第30回 建築設計競技



作品送付先/お問い合わせ先

建築設計競技委員会

TEL:0480-33-7681 E-mail:kenchiku-compe@nit.ac.jp

http://nit-kenchiku.jp/activities/

提出期限 **8/26** 入賞発表 **9月上旬**

建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計の腕試しの場として、また本学建築デザイン学群の設計教育活動の一環として、毎年開催しています。今回の課題は「おとまりも考える家」です。

第20回 スターリングテクノロジー



作品送付先/お問い合わせ先

スターリングテクノロジー技術会事務局 松尾政弘

TEL&FAX:048-858-3098 E-mail:stirling@jcom.home.ne.jp

http://members.jcom.home.ne.jp/stirling/

申込締切 **9/11** 開催日 **11/12**

人間乗車、RC、ミニ宙返り、ミニ速度、マイクロ宙返り、マイクロ耐久、クワールの7クラスで、自作スターリングサイクル機器の性能とアイデアを競います。

工業技術博物館記念講演会・総会

本学OB根本氏講演

「モールド変圧器の開発・発展の歩み」

6月3日の午後、学友会館で工業技術博物館と同後援会の春季特別講演会並びに第26回後援会総会が開催された。

特別講演会では、近年普及が進んでおり、博物館内に小型(100kV A)の3相変圧器と大型

(7500kVA)の巻線の実物展示があるモールド変圧器(通称モルトウ)を取り上げ、展示機器を平成26年11月に寄贈した富士電機株式会社から営業本部素材産業統括部担当課長の根本浩一氏(本学システム工学科

平成5年卒業)を招いて「モールド変圧器の開発・発展の歩み」という題目で講演が行われた。この変圧器の構造・製法・使用材料から、特徴・用途・要求性能に進み、開発・発展の経緯、さらに高効率化・大容量

化・短納期化・劣化診断技術の最新動向まで、多くの図表を用いた詳細な説明があり、理解を深めることができた。今回は産学連携起業教育センター、NITEC埼玉産学交流会等も共催となったため、後援会会

員、理事長、学長等本学幹部、機械工学科の学生に迎えるのを機に、それを記念する行事等の検討と準備開始が了承された。



システム工学科OBの根本氏が講演

総会では、高山一成後援会長の挨拶に続き、後援会の平成27年度の事業・決算報告、28年度の事業・予算案が審議され、原案通り承認された。また、総会前の役員会では、学園創立10周年、大学設立50周年の来年度、博物館も開設30周年を迎えるのを機に、その

その後開催された懇親会には、柳澤理事長、成田学長等の出席も得て、根本氏の講演や初参加で博物館を訪問された方々の感想等を話題に、など

留学生研修ツアー・交流会実施報告

留学生が富士山体験

日本の文化と歴史を満喫

研修で富士山へ

本年度で第5回目となる留学生研修ツアーが、5月21、22日に実施された。この研修ツアーは、故郷を離れて暮らす留学生に、日本文化や歴史を学んでもらうことを目的としている。

1日目は、留学生に人



富士山5合目で記念撮影

2日目は、武田信玄、林寺では、うぐいす廊下、国の名勝指定を受けている庭園、その他多くの重要文化財を見学。2日間ではあったが留学生にとって貴重な体験となった。

専門職大学院だより

本年度入学者の近況

大学院技術経営研究科 教授 近江 正幸

技術ばかりでなく経営にも強い人材を育成することを目的に、専門職大学院が学園開学の地である神田に開設されたのは平成17年である。1年制の本学では今年度の入学者は12期生となり、22名が入学した。

「専門職大学院の入学式で常に感じるのは、学ぼうとする人々の眼差しは、年齢に関係なくみずみずしい」と入学式祝辞で柳澤理事長が指摘した。私も入学してへる学

日本人学生や教員と交流

毎年恒例となった留学生交流会が、6月28日にスチューデントセンターで開催された。

交流会は本学に在籍している留学生や留学生以外の外国人学生、そして日本人学生が更なる交流・親睦を図ることを目的としている。参加した外国人学生は約100名にのぼり、学長をはじめ大学関係者も参加し、盛

ものづくり環境学科の増田さん

杉戸町の魅力を発信

開創400年を迎える杉戸町「ふるさと大使」に本学ものづくり環境学科2年の増田美咲さんが就任した。7月16日の杉戸町では宿場町としての魅力を持った「杉戸



任命式に出席した増田さん

戸夏祭りにおいて、その任命式及び御披露目会が行われた。杉戸町では宿場町としての魅力を持った「杉戸

宿を内外に発信することを目指している。その取り組みの一つとして「杉戸町ふるさと大使」を任命し大使からの新たな視点での情報発信を担うことになる。今後、古利根川流灯まつり・杉戸宿場まつりなどの杉戸町主催の各イベントでの活躍が期待される。

中国科技大学学生二行学内見学、体験授業

本学の協定校の一つである中国科技大学（台湾）より、室内設計系の学生34名と教員7名が来学した。一行は6月19日に到着し、20日に学内見学及び歓迎会が開催された。また、同日には、建築学科

および生活環境デザイン学科の教員による体験授業が開講された。学生らは、徐華准教授が設計した「日本工業大学教職員組合事務所」の建物についてレクチャーを受けた。また、足立真教授、

生の眼光には、これから1年の勉強強に向けた決意が表れていることを毎年感じる。ただその眼差しは複雑で、これからの時間のやりくり、経済的な問題、職場の人々や家族との関係といった大学院生活についての不安も宿している。

専門職大学院 オープンキャンパス

パネルディスカッション 説明会

キャンパスツアー 模擬授業 等を予定

2016 10/22(土) 2/4(土)

2017 12/3(土)

※各日とも13:00開始予定
※詳細はWEBサイトへ
http://mot.nit.ac.jp/

お問い合わせ先
日本工業大学 専門職大学院
TEL.03-3511-7591 Mail: mot@kanda.nit.ac.jp

オープンキャンパス 6/5(日)に今年度第1回を開催

6月5日は、大勢の高校生や保護者の方が参加。平成29年度の入試概要が明らかになり、授業体験や個別進路相談会、保護者説明会、女子向けプログラムなどが好評だった。

今後のスケジュール

NIT 夏のオープンキャンパス

8/20(土) 9/11(日)

オープンキャンパス・進学相談会

11/26(土)

■各開催日とも11時開始(ランチ付き) ■無料バスを運行
■事前に申し込まれた方にプレゼントを差し上げます

WEEKDAY CAMPUS VISIT 10/28(金) 授業体験型オープンキャンパス 11/14(月)

※本学ホームページから要予約

お問い合わせ・お申込み先：日本工業大学 教務部入試室
〒345-8501 埼玉県南埼玉郡宮代町学園台 4-1
☎0120-250-267 E-mail: nyu-shi@nit.ac.jp
URL: www.nit.ac.jp

詳細は本学 WEB サイトをご覧ください

本学で先端技術研究の取り組みを

社会人大学院生 募集 (日本工業大学大学院 社会人特別選抜)

◆大学院工学研究科(博士前期課程・博士後期課程)

※環境共生システム学専攻 ※機械システム工学専攻
※電子情報メディア工学専攻 ※建築デザイン学専攻

■平成29年度 大学院 社会人特別選抜入試日程

	日程			
	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切
一次募集	平成28年9月21日～9月27日	10月 6日	10月15日	平成29年1月20日
二次募集	平成29年2月 8日～2月15日	2月22日	3月 3日	平成29年3月 9日

お問合せ先：教務部教務課 大学院入試係
TEL 0480-33-7507 URL http://www.nit.ac.jp

葛西幸一助手による「ミニチュア家具の制作」を受講した。その後、宮代町の進修館、笠原小学校(設計：象設計集団)を見学した。21日は、留学生別科において日本語研修を受講した。22日は、建築デザイン学群の設計製図の授業を見学した。29日は、波多野純教授と共に江戸東京博物館を訪れ、同教授が復原設計した「日本橋」について解説を受けた。その他、日光、六本木、青山、新宿、浅草、両国を訪れ日本の現代建築や歴史的建造物について学んだ。

研修は11泊12日に及び、6月30日に帰国した。

「ミニチュア家具の制作」受講の様子

平成29年度入試概要

・各入試の詳細は、それぞれの「募集要項」でご確認ください。・エントリー、申込、出願等にあたっては、締切日必着とします。

入試種別	併願の可否	内 容	日 程									
特別奨学生入試	第1期 単 願 第2期 併願可	奨学生には、 1年次の授業料の全額 (98万円) または半額 (49万円) を免除 第1期 ・書類審査および面接による選考 ・特待生制度あり 第2期 ・筆記試験、調査書および面接 による選考 ・検定料割引制度あり			第1期		第2期					
			申込期間		9/15(木)～ 9/26(月)		1/ 6(金)*～1/20(金)** **インターネット出願は12/20(火)から受付。 **1/21(土)・23(月)も窓口受付。 1/29(日)～2/ 1(水)* 本学 *1日を選択。 2/ 9(木) 16:00 3/10(金)					
			面接日と面接会場		10/ 1(土) 本学							
			内定日		10/ 5(水)							
			出願期間		10/ 7(金)～10/17(月)							
			試験日と試験会場									
専門高校入試 (S 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・国公立大学等との併願に最適	申込期間		9/15(木)～ 9/26(月)							
			面接日と面接会場		10/ 1(土) 本学							
			内定日		10/ 5(水)							
			出願期間		10/ 7(金)～10/17(月)							
			合格発表日		10/29(土)							
			入学手続締切日		1/24(火)							
専門高校入試 (B 工業科)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・工業科の生徒を対象 ・公募制	出願期間		11/ 1(火)～11/10(木)		11/29(火)～12/ 8(木)					
			面接日と面接会場		11/19(土) 本学		12/17(土) 本学					
			合格発表日		11/29(火)		12/22(木)					
			入学手続 締切日		第1回 12/ 8(木) 第2回 1/24(火)		1/24(火)					
AO入試 AOエントリー入試 AOコーディネータ 入試	併願可	AOエントリー入試 ・適性評価 (面談・提出課題) および書類審査 (エントリーシ ート・調査書) による選考 AOコーディネータ入試 ・書類審査および面接による選考	第1期		第2期		第3期		第4期			
			エントリー 期間		8/1(月)～8/4(木)		9/7(水)～9/14(水)		11/1(火)～11/9(水)		1/27(金)～2/23(木)	
			面談日		8/6(土)・20(土)		9/11(日)・17(土)・10/1(土)		11/12(土)・26(土)		書類受理後に連絡	
			内定日		8/27(土)		10/5(水)		11/29(火)		3/6(月)まで	
			コーディネータ入試の申込期間		8月1日(月)～平成29年2月23日(木)まで、随時受付							
			出願期間		9/1(木)～9/7(水)		10/7(金)～10/17(月)		11/30(水)～12/8(木)		2/24(金)～3/9(木)	
			選考		書類審査等							
			合格発表日		9/13(火)		10/29(土)		12/22(木)		3/16(木)	
			入学手続 締切日		第1回 9/27(火) 第2回 1/24(火)		11/ 8(火) 1/24(火)		1/24(火)		3/24(金)	
一般推薦入試 (公募制)	併願可	・書類審査および面接による選考 ・専門高校 (工業科) 以外の生 徒を対象 ・公募制	第1期		第2期							
			出願期間		11/ 1(火)～11/10(木)		11/29(火)～12/ 8(木)					
			面接日と面接会場		11/19(土) 本学		12/17(土) 本学					
			合格発表日		11/29(火)		12/22(木)					
			入学手続 締切日		第1回 12/ 8(木) 第2回 1/24(火)		1/24(火)					
一般入試	併願可	・筆記試験および調査書による選 考 ・試験教科・科目は、 一般入試Aは数学・理科 (物理 または化学)・英語の3教科、 一般入試Bは2教科を選択。 ・検定料割引制度あり	一般入試 A				一般入試 B					
			出願期間				1/6(金)*～1/20(金)** **インターネット出願は12/20(火)から受付。 **本学会場のみ1/21(土)・23(月)も窓口受付。					
			試験日				1/29(日) 本学・東京・郡山・水戸 高崎・柏・富士 1/30(月) 本学・東京・宇都宮・千葉 横浜・長野 1/31(火) 本学・東京・仙台 新潟・静岡 2/ 1(水) 本学・東京					
			合格発表日				2/ 9(木) 16:00					
			入学手続締切日				2/20(月)					
センター利用入試	併願可	・平成29年度大学入試センター 試験で、本学が指定する教科・ 科目の成績および調査書による 選考 ・検定料割引制度あり	センター利用入試 A		センター利用入試 B		センター利用入試 C					
			出願期間		1/6(金)*～1/30(月) **インターネット出願は12/20(火) から受付。		2/2(木)～2/14(火)		2/24(金)～3/9(木)			
			センター試験実施日		1/14(土)・15(日)		※本学での個別学力試験等は実施いたしません					
			合格発表日		2/9(木) 16:00		2/27(月) 16:00		3/16(木) 10:00			
			入学手続締切日		2/20(月)		3/10(金)		3/24(金)			

・専門高校入試 (A 工業科) および一般推薦入試 (指定校) については、2017受験ガイドおよび募集要項をご確認ください。
・お問い合わせ先：入試室 Tel 0120-250-267

県	

大町
23号

の暗示にもなっ
▼だから目的は自
のだせ、と。【信】